

## 令和4年度第2回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 令和4年10月7日(金) 午前10時00分～12時05分
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局4名、傍聴人0名
- 4 議事 令和3年度に実施したパブリック・コメント手続きの個別評価(案件No.1～No.4)について

○事務局 　　ただ今から、令和4年度第2回パブリック・コメント審議会を開催する。本日の出席者は委員8名中8名で全員出席となり審議会は成立。なお、民生委員・児童委員連合会選出委員の辞任の報告、後任の委員の紹介を行う。傍聴者はなし。

○会長 　　それでは議事に入る。令和3年度に実施したパブリック・コメント手続きの12件について総合評価表に各委員に評価していただいた。それを事務局にとりまとめていただいた。その資料をもとに本日、次回、次々回に分けて評価をしていく。

○事務局 　　まず事務局から資料1-A・B、資料2について説明をお願いします。  
資料1-A・B及び資料2について説明する。

(各委員に提供した資料1-A、B及び資料2は、本日審議分である。)

○会長 　　本日はNo.1からNo.4までの4件について審議を行う。まず、No.1「宝塚市水道事業経営戦略中期見通し(案)宝塚市下水道事業経営戦略中期見通し(案)」から評価を始める。審議案件について、各委員から意見を伺ったうえで、評価を最終的に決めていく。

○委員 　　この計画は、分かりやすかった。①専門用語等が各ページにおいてきちんと説明されている。②市民からいただいた意見に対する市の回答が適切になされている。③今年度審議案件について2つの計画案を一括してパブコメにかけているものが多かった、2つの案がどのように関連しているのか、どこが違うのかが分かりにくい。色を変えるなどの工夫はされているが、読み手としては混乱する。

○会長 　　2つの計画案をセットにしてパブコメすることについて、市において何か取扱基準などはあるのか。

○事務局 　　市としては特に統一的な基準はありません。個別案件毎の対応となり、所管課の判断に任している。内容的にリンクしているのかもしれない。

○会長 　　パブコメ実施担当課の判断で行っているということか。

○事務局 　　この案についてはインフラ的には別であるが、財政的に相互に影響

し合う関係にあるので、一体不可分ということで判断されたのであろう。

○委員 下水道料金は、水道利用量に基づいて決まる。したがって、こうした形にならざるを得ない。

○委員 両計画案共に「経営戦略」という言葉が使用されているので、読み手は混乱してくるのではないか。

○会長 次案件も同じであるが、どうして2つの計画案をセットにしたのか、という説明は必要である。

○委員 内容的に読みやすく、ここまで丁寧に纏められている案件である。

○委員 「中間見直し」ということで、前期の検証もなされ、それを踏まえた改善案も示されている。用語の説明が丁寧にされている。

○委員 昨年度の審議案件は、このことができていなかった。今年度はこうしたことができていないのではないか。

○委員 昨年度の審議会での評価内容がフィードバックされたのか。全件読んだ中で1番読みやすかった。対象ごとに色分けしている点は、読み手に配慮されている。この案件は、見直しの流れが書かれていてとても読みやすかった。市民の意見に対する回答も、丁寧に回答ができています。数値から図表を作成しているが、その数値の根拠説明が不足している点が分かりにくかった。

○委員 下水道については、市民になじみが薄く分かりにくいですがきちんと書かれていて読みやすかった。数字の羅列が多く、図表を用いて説明する工夫をすればよかったのではないか。水道料金について、将来の見込みやこれまでの経緯など記載があればよかった。料金の赤字についてパブコメをしたが、市の回答についてより丁寧な説明をして欲しかった。

○委員 この計画は、料金値上げのためのアナウンスではないのか。借金についてはあまり記載がないように思う。将来的な値上げについて、触れられていない。概要版の図表について数字の桁間違いの記載がある。計画案は、理路整然と書かれている。キャッチコピーは、はっきりと案の意図する主旨を表していない。

○委員 表紙は分かりやすい。市民からの意見に対して市のフィードバックで計画案に反映できたのではないかとと思われるものがある。対応できるところを改善に向けて取り組めるのではないか。市民からの意見内容を短文化しているのは、いかがなものか。短文化せず、そのまま掲載すべきではないか。

○会長 パブコメ内容を短文・要約して載せることについて、何か市の方針はあるのか。

- 事務局 応答様式についてはルール化しているが、短文・要約した内容を記載することについてルール化はしていない。担当課の判断に任せている。
- 会長 丁寧に資料は作られているが、「経営戦略」って何か、という説明が欲しかった。どうしてこの計画案を作っているのか、という説明があってもいいのではないか。また、専門用語の解説が市民にとって難しすぎるのではないか。数字や図表を用いて正確に作っているが、市民にとっては分かりやすさに配慮した方がいいのではないか。
- 委員 雨水処理に係る市の財政的負担を記載すればよかったのでは。
- 会長 市民からすると、料金についてどうつながっているのか。
- 事務局 雨水処理に係る負担分については、下水道料金に影響はしていない。
- 会長 ①前期の見直し内容は記述されていること、カラー分けをして説明されていることは評価できる。②2つの計画をまとめてパブコメをすることについての説明を要する。③図表も対応できているが、本文における数値の図表からの読み取りなどについて工夫が欲しかった。④「経営戦略」の説明（言及）が欲しかった。⑤市の回答について対応可能なものがあつたのではないか。⑥パブコメの内容を簡略化して記載していることは検討すべきである。②、⑥については、最後に別途議論することにする。
- 会長 No.1については、B評価でよろしいか。→了承
- 会長 全体評価として、Bとする。
- 会長 続いて、No.2「第2次宝塚市温暖化対策実行計画（区域施策編）第2次宝塚エネルギー2050ビジョン(案)」ですが、ご意見はありますか。
- 委員 意見公募用紙及び概要版も分かりやすくできている。市民の意見に対して丁寧な回答がなされている。全般的には好意的な評価となる。当初、公募用紙については、カラー刷りであったのではないか。カラー刷りでなければ、カラー刷りであった方が良かったのではないか。概要版の内容で、アンケート調査の内容（調査概要等）があつた方が良かったのではないか。いまさらPDCAサイクルを持ち出す必要はあつたのか。今ならEBPMを用いた方が適切であつたのではないか。
- 委員 この計画内容は現実味が乏しいのではないか。2050年には再生可能エネルギーが100%となっているなど、目標が夢のようである。元来、市には産業が少なく、CO2排出量が少ない。資料が多く、論点がずれて目標が曖昧になる傾向がある。市民の意見も少ないことは、もう少し市民の関心を引くような工夫をすればよかったのではないか。
- 委員 この案件は、とても読みにくい内容であつた。キャッチコピーを見て、何をコメントしたらよいのか、分からなかつた。排出量ゼロに向

けてのプロセスが分かりにくい。5つの目標を見て、ようやくこの計画は何を言っているのか、計画の構成が分かった（概要版 P6～7）。グローバルな問題と直結する中で市が何をどこまで行うのか、市民が何をすればよいのかという点が明確でない。この問題は市だけが取り組む内容なのか。

○委員           私は、環境審議会の委員であった。5つの目標を前面に出した方が分かりやすい。数値のほとんどが国のデータを基に算出したものである。市として何をすべきなのか、を明確に記載してほしいと審議会において要望した。しかし、殆ど記載されていない。第1次計画との改正点が明確となっていない。おそらく計画内容はアップデートしたものだけを記載し、構成し直したものではないか。今次の計画のポイント（力を入れている点）を明らかにした方が良かった。

○委員           資料（概要版・本編）の体裁は、分かりやすく構成されている。概要版の産業部門別の数量比較で、変化している点の説明が不足している。目標の妥当性の説明が、概要版の中で簡単に触れる必要があれば市民が理解しやすいものとなる。（本編に説明された記載あり）。削減目標を考える上では、その点の説明が必要である。

○委員           他の案件でも同様のことがいえるのだが、決定過程が不十分である。いつ、何を議論した、という内容の説明が必要ではないか。審議会での議論の中で評価について賛否が分かれるのは、多様性があると感じた。

○会長           いろんな見方があるということを担当課に気づいてもらえればいいのではないかと。色んな見方があることを担当課が次に向けて考えていただければよい。

○委員           前計画との関係で改善と対応についての連続性が分かりにくいこと、例えば、市民からの意見に対する市の回答（2050ビジョン）の箇所、説明しているが、これは計画書に反映する内容だったのではないかと。このキャッチコピーは耳に馴染みやすいが、市として何をしなければならぬのかが分かりにくい。このことは、問題設定の難しさなのか。市として具体的に落とし込めていないのではないかと。この点がキャッチコピーとしての分かりにくさに繋がっているのか。

○会長           委員の指摘の市の回答について、対応可能なものがあつたのではないかと、前計画の検証、この点を考慮して今次の計画に反映したという説明が本編から抜けている。また、意見募集時には、表紙はカラー刷りであったのか。

○事務局           現段階では分からない。

- 会長 2つの計画がセットである旨を概要版でも分かりやすく説明する必要がある。①地球環境問題というグローバルな問題と市レベルでの問題の捉え方の隔たりが大きすぎる。そのため、キャッチコピー、目標など、行政としての市が担うこと、市民が担わなければならないことの役割分担を強調、分かりやすく示してほしい。また、②この計画の根拠、概要・内容等について市としてこのようなグローバルな課題を、国との関係も含めて、どう受け止めたのかを丁寧に説明する必要であったのではないか。市民は何について意見を出せばいいのか、が分かりにくい。丁寧な対応をしているが、計画の持つ性格が広範囲であるため、もう少し市民に対して分かりやすく説明するなど工夫が必要であったのではないか。
- 会長 評価について、変更はあるか。
- 委員 DからCに変更。
- 会長 評価をBでいいか。→了承
- 会長 No.3「第2次宝塚市教育振興基本計画(案)」について評価を始める。
- 委員 私自身、この計画に初めてパブリック・コメントに意見提出をした。前計画の課題とその振り返りが説明されていない。この説明がないので、自分で前計画を読んで比較したうえで意見を提出した。市民の労力・負担は大きく、もう少し説明が必要ではないか。また、本編に記載のない語句(「インクルーシブ」)を概要版で使用していた。敢えて、概要版でこの文言を使用する理由が分からなかった。語句の使用は適切な使用をお願いしたい。提出意見が少ないのは、この計画案を読み込む労力が必要であったからではないか。
- 委員 文字数が多く、図表を活用して読みやすくすれば良かったのではないか。
- 委員 本計画は、前計画との関係性について全く触れられていない。市の回答で、現状を踏まえた内容、例えば、コロナ禍における教育のあり方・進め方について、市の回答が不十分ではないか。今後の課題を含めた対応などを明確に示す必要がある。このような内容を本編に盛り込むべきではなかったか。
- 委員 課題意識として序文に記載があれば良いのではないか。
- 委員 概要版の中で計画の過去の位置づけについて、方針、施策内容などの説明が不十分である。読み手にとって説明は分かりにくく、10年間の取り組みの成果について全く記載がない。
- 委員 文字が多く、説明が簡潔にまとめられていない。組織内的事実は記載があるが、児童・生徒に対することや今後の展開(活用方法)についての記載が不十分であり、具体的なものでない。市は何をするのか、とい

うことが明確でない。(現状不知)

○委員

「はじめに」の文言で、踏み込んだ記載があって評価できる。

記載内容について、事実の羅列ばかりで具体的な内容がない。何を、いつまでに、という具体性がない。計画検討委員会の委員が内部組織で構成されている。作成過程において外部から市民等を入れて具体的な計画を作るべきではないか。学校の環境整備（施設設備）の改善についても計画に盛り込んで検討すべきではなかったか。

○委員

概要版・本編について骨子が分かりにくいものとなっている。論点をぼやかしていると言われても仕方ないのではないか。教育委員会職員は、市職員で構成されているのか。パブリック・コメントをするスキルがあるのか。

この審議会でのフィードバックを次計画に生かすことができるのか。市民からの意見に対して、一部は市の対応が可能であるのではないか。

○会長

計画書 P13 の内容（「計画書の読み方」）は、興味を引いた。しかし、全体的に文字が多く、抽象度も高く、読みにくく分かりにくい。また、前計画の振り返り、検証をされたのか、どこに問題があって、どのようにしたいのか、が分かりにくい。計画のデザインをもう少し工夫して欲しかった。

もっと読みやすく、分かりやすくする工夫が必要である。極めて広い内容を取り扱っているゆえにポイント、論点に対しメリハリをつけたスタイルにして欲しかった。計画の性質上市民の意見を踏まえて、盛り込む事項がもっとあったのではないか。計画を作った体制（内部委員での構成）にも問題があったのではないか。今後市の教育をどのようにしていくのか、どういう教育に取り組んでいくのかが、明確にすべきであったのではないか。(展望)

○会長

教育委員会には指導主事など教員も多数在籍していると思うが、パブリック・コメントに関するスキルは、市長部局とは違うのか。

○事務局

委員会には、教員と市職員が混在している。検討委員会には、大部分が市長部局からの出向市職員である。よって、市職員のパブリック・コメントに係るスキルには、差異がない。

○会長

では、評価について変更はありますか。

○委員

C 評価から D 評価に変更。

○委員

先程の本編にない文言を概要版に使うこと、について市では何か取り決めはあるのか。

○事務局

特段、事務局としては定めていない。

○会長

C 評価でよろしいか。→了承

- 会長 No.4「宝塚市行財政経営方針（案）及び財政規律（案）」について評価を始める。
- 委員 形式面でのパブコメの統一した運用を図って欲しい。縦書きと横書きのものが混在している。例えば、概要版においてスライド型と文書型の両方を作成するように要請してはどうか。市民にとって関心が薄い部分であるが、そのことが意見提出件数に影響していなければいいが。
- 委員 ある部課では、横書きのパブコメ様式を使用している。組織内部からの改革を、仕事のやり方を変えようとしているのか。市民に読みやすい、市民が意見を出しやすい内容をパブコメの資料として提供していく必要があるのではないか。
- 委員 縦書きのものから横書きのものへと少し戸惑った。しかし、横書きは文字も大きく読みやすく感じた。内容については、市民には分かりにくいものである。市民の意見に対して、回答は丁寧になされている。
- 委員 この計画案は、横文字やカタカナを多用している。この注釈を読んでもなおよく分からない。平易な文言を使用しないと、市民は意見を出せないのではないか。計画の内容は、一般的なものである。市として計画のエッセンスを書いて欲しい。
- 委員 寄せられた意見に対しては、分かりやすく丁寧に回答されている。体系的に概要版と本編の情報量があまり変わっていない。概要版に一層の工夫があればよかった。
- 委員 A4版の概要版が分かりにくい。A3版にすればよかったのではないか。
- 委員 概要版において、スライド版だと誤解を生じる可能性がある。スライド版を補うために文書版との併用があればいいのではないか。誰のためのものなのかが分からなかった。職員のためのものなのか。意見募集される際に、この資料を入手される場所が限られていたのではないか。広く意見を求めているものなのか。文書の書き方について、予算要求のように作られていて、これが果たして経営方針なのか。
- 会長 市民からの意見に対する回答はとても丁寧になされている。スライド形式と文書形式は、読み手によって読みやすさの点で評価が分かれる。この形式をどのように考えるのかについては、後で検討する。この資料等は内部向け、市民向けのどちらに向けて作成されたのか。
- また、注釈が市民向けの注釈となっていない。この案件がどういうものなのかの説明が、市民に伝わらないものとなっている。この計画を作る目的が、明らかでない。果たしてパブコメに馴染むのか、知識がある人には良くできたものかもしれないが、市民から意見を貰おうとするならば、もう少し平易なものを用意しなければ。市民としては意見が出し辛いも

のとなっていないか。

○会長

この案件に対する評価ですが、変更等はあるか。

評価は、Bですがいかがでしょうか。→了承

全体的に何かありますか。

○委員

総合評価表について、審議会用として計画書等の内容に踏み込んでいるコメントも割愛せずに、何らかの表示をして資料として提供していただきたいように願う。(資料 1-B)

○会長

以前、担当部課から本審議会に対して所掌事務から外れる、内容に関する評価であると指摘があったことなどを受けてのこのことではないかとも推測するが、審議会の審議に資するものでもあり、委員のコメントが計画内容自体に関するものとそうでないものと分かるような記載を入れるなどして、資料を作成していただきたい。次回審議会から資料作成は可能か。

○事務局

次回からそのように資料を提供する。

○事務局

資料について事前に電子データを送信する。開催当日の資料の用意及び審議案件の冊子の持参を願う。なお、次回 10 月 28 日 (金)、よろしくをお願いします。

○会長

以上をもって本日の審議会を終了する。